



つばめ通信 第15号

蓮田病院版

2023年6月10日

発行人：西田淳二

発行：蓮田病院 摂食嚥下委員会

発行所：〒349-0131埼玉県蓮田市根金1662-1

電話048-766-8111(代)

皆様こんにちは。言語聴覚士（ST）の鈴木と申します。
2023年度よりつばめ通信は春夏秋冬の季刊となりました。
今回は当院の摂食嚥下委員会の活動についてお話し
しようと思います。



摂食嚥下委員会では主に3つの活動を行っております。

①VE（嚥下内視鏡）検査の実施状況の確認や、②嚥下障害のある患者様に対し、どんな食事形態が良いか、どのような姿勢が良いか、どのような介助方法が良いかなどを話し合う嚥下カンファレンス、③病棟での嚥下食の準備の仕方や介助方法などを周知する勉強会などを主に実施しております。

今年度も摂食・嚥下障害で悩んでいる方たちの力に少しでもなれるよう「美味しく安全な食事」をスローガンに、チーム一丸となって活動を行っていきます。つばめ通信でも嚥下に関する役立つ情報や知識をどんどんお伝えしていきます！
どうぞよろしくお願いいたします。



～VE（嚥下）検査実施日時のお知らせ～

毎週月曜日午後14:00～14:30（耳鼻科外来にて予約制）

「食べにくさを感じている」「食事中よくむせてしまう」など飲み込みで心配がある方は、一度検査を受けて嚥下機能を確認してみたいはかかでしょうか？

摂食嚥下チームのメンバー紹介

摂食嚥下チームに新しく参加しました管理栄養士の山口です。

嚥下障害となる原因のいくつかは、加齢に伴う低栄養、筋力低下、脱水があります。嚥下能力に合わない食事を提供すると、食欲不振、食事摂取量の低下を招き、低栄養になるという悪循環に陥りやすいので、他職種で連携して適した食事を提供し、食事を楽しんでもらえる環境を作ることを目指しています。

今後も皆様のお役に立てるようチームに参加し、知識を深めていきたいと思っております。



こんにちは。薬剤師の久野です。
摂食嚥下障害は、食事だけでなくお薬を飲み込むことも難しくなります。

患者様のからだを悪化させないために、お薬を服用することはとても大切です。カプセルが飲みにくければ口の中で溶けるOD錠への変更、錠剤が飲みにくければ粉薬への変更など、剤形を変更することでお薬が飲みやすくなります。

また、今飲んでお薬が嚥下機能を低下させてしまっていることもあります。そのようなお薬を飲んでいないか、また飲んでいれば代替薬を提案することで嚥下機能の改善につなげていきます。

必要なお薬をしっかりと服用できるよう、患者様ひとりひとりに合わせて、サポートさせていただきます。

